



No.515

発行 一般社団法人名古屋工業会
(名古屋工業大学全学同窓会)

理事長 横山裕行

〒466-0061 名古屋市昭和区御器所町字木市29番
国立大学法人名古屋工業大学 校友会館内

TEL・052-731-0780

FAX・052-732-5298

E-MAIL・gokiso@lime.ocn.ne.jp

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

一般社団法人名古屋工業会会誌

ごきそ

2023 9-10月号

【交流コーナー】

分析化学と化学分析の接点で過ごした40年
ヨット部のファミリーデーと部の現況
名工大硬式野球部奮闘記&応援記

【ホットライン】

名工大オープンキャンパス開催

【新聞記事コーナー】

中日新聞

【情報ネットワーク】

支部報告・会員ニュース



2023年度 東京支部総会のご案内

初秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は名古屋工業会の活動にご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

東京支部では名古屋工業大学卒業生の絆を深める場として、毎年11月に支部総会を開催しており、本年度は下記の要領にて2023年度東京支部総会を開催致したく存じます。

なお総会後の特別講演会では、公益財団法人 核物質管理センター 理事長 下村和生様 (M48) をお招きし、大変興味深いお話をお伺いします。また特別講演会の後には、参加者全員での懇親会を予定しています。

当日は、名古屋工業会の理事長をはじめ、大学関係者・現役教授の方々もお迎え致します。ご多忙とは存じますが皆様お誘い合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

日 時：2023年11月11日（土）受付開始12：30～

- ・支部総会 13：00～13：35
- ・特別講演会 13：35～14：40
- ・写真撮影 14：40～15：00
- ・懇親会 15：00～17：00

会 費：名古屋工業会正会員5,000円
登録会員（注：従来の非会員）6,000円
学部卒業後8年以内の方・90歳以上の方3,000円
総会・講演会のみ参加の方1,000円

場 所：鉄鋼会館
東京都中央区日本橋茅場町3-2-10
電話03-3669-4855

交 通：J R 東京駅下車八重洲口 徒歩約15分
東西線 茅場町駅下車12番出口 徒歩約5分
日比谷線 茅場町駅下車1番出口 徒歩約5分
日比谷線 八丁堀駅下車A5番出口 徒歩約5分



特別講演会：

講師 公益財団法人 核物質管理センター 理事長 下村和生様 (M48)

演題 科学技術の発展と原子力開発・利用

概要 17世紀ころの欧米における国家の形成、産業革命及び科学技術の発展による工業社会の登場、化石燃料の大量消費の中での鉄道・自動車・航空機による技術革新、2回にわたる大量殺りく兵器による世界大戦の経験、これらを踏まえた国際機関の登場・役割等を解説し、原子力の平和利用及び地球環境の持続的な発展と平和の維持をどうすべきかについて、講師の国際機関等での経験（約17年間）を基に解説する。

単科会	担当者	TEL	E-mail
C E 会	佐田 崇 (C④)	080-2465-2049	sada.2gk.takashi@jp.nipponsteel.com
光鱈会	鹿島 孝 (A59)	070-4115-2546	ko.kashima@mj-sekkei.com
巴 会	橋本 和隆 (M55)	090-1506-7822	kazucallfmt@nifty.com
電影会	三浦 太朗 (E⑬)	050-1580-3039	t.miura.322@nitech.jp
双友会	印藤 嶺 (W43)	090-6921-1315	t-nikkal117@cg7.so-net.ne.jp
緑 会	馬場 順一 (D①)	090-3838-7608	junichi.baba@nsg.com
名寮会	大久保智明 (D57)	080-4290-8131	t.okubo.916@nitech.jp
名晶会	北村 明弘 (K53)	090-6191-3316	akihiro.kitamura@sho-pat.com
計測会	小川 一郎 (F52)	090-9295-0957	i-ogawa@mtj.biglobe.ne.jp
経友会	齊藤 靖範 (B49)	090-4543-0165	y.saitou202214@docomo.ne.jp

表紙写真説明

「鶴舞公園のコスモス」

撮影者 名古屋工業会事務局

交流コーナー

分析化学と化学分析の接点で 過ごした40年

出口技術士事務所 出口 義国 (G57、DM59)

1. はじめに

定年後の嘱託勤務を含め39年間働いた、株式会社カネカを今春卒業した。学部4年から修士の研究室生活を加えると40年に渡って化学、中でも分析化学と化学分析の接点で仕事を続けてきたことになる。

この機会に自分の経歴を辿りつつ、著しい技術進歩や社会変化を振り返ってみたい。

2. 中川元吉先生の思い出

私が入学した1978年は旧入試制度の最終年で、入学と共に期せずして“最後の二期校生”と呼ばれることになった。入学の年に第二次オイルショックが発生し、在学期間の大半は不景気による閉塞感が日本中を覆っていた。

当時の名工大は男子学生が99%を占め、バンカラな気風が漂っていた。工大祭の神輿をはじめ、“馬鹿なことを真面目な顔をしてやるのがカッコ良い”と皆が考えていた。

研究室配属から修士修了までご指導いただいたのが本学名誉教授・故中川元吉先生である。それはもう公私に渡って厳しい教えをいただいた。「クソタワケ」が挨拶代わりの名物講義はハチャメチャなのに試験は飛び切り難しく、一発で単位を取れるのはほんの一握りだった。

研究指導以前に、基本的な物事の考え方、手

順、報告といった作法に非常に厳しい先生で「分析が全ての基本じゃあ」とか「些事に神ありと言うんじゃあ」と何度もお叱りを受けた。当時はただ叱られるばかりであったが、学生を未熟な大人として認めてくださり、未熟なのだから鍛えてやる、という考えが根底に流れていたように感じている。

私を含め学生はちゃっかり先生の目を盗んで遊んでいたが、社会に出てから先生の考えの一端が分かった気がしたものである。そして今はあの頃の先生方は豪傑ぞろいだったと、懐かしく思い出すばかりである。

3. 学生時代の研究

学生時代は吸光光度分析をフロー分析系に展開する研究テーマに取り組んだ。食塩電解業が水銀法から隔膜法へ大転換する時期であったので、原料食塩中の微量Ca/Mgの分析は時代の流れには沿っていた。

ただ分析原理や方法論は先生方の持ちネタの範囲で、私自身は手を動かしていただけて研究が何たるかは全く理解できていなかった。アゾ系比色試薬を用いる金属分析はその後すたれてしまったが、実験の中で夾雑物の影響や定量限界の意味は学ぶことができた。そしてそれらの基本は分析屋として生きる力になった。



図1. 1981年忘年会での中川先生

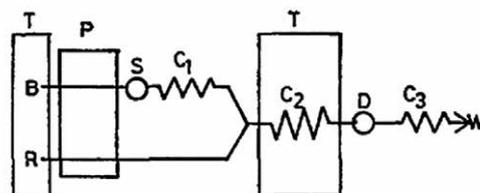


図2. 流れ分析系の構成図

4. 若手研究員時代

入社後の研究テーマとして、新規なエポキシ樹脂の開発を与えられた。半導体封止材がセラ

ミックからエポキシ樹脂に転換する時期であった。人と違う発想で合成した樹脂で国内特許4件、米国特許3件を取得することができたが、排水処理が難しくプロジェクトは事業採算性のある絵が描けなかった。

研究成果を工業的に成り立たせるためには、コア技術だけではダメで、周辺技術も不可欠であることを学んだ。

5. 米国留学

1990～92年に会社の制度を利用して米国マサチューセッツ州立大学(UMass)に留学の機会を得た。David A. Tirrell教授が主宰された遺伝子組み換え技術を用いて大腸菌に絹タンパク相当のポリペプチドを合成させるプロジェクトに加わった。

その頃には自分をいっばしの化学者と自惚れていたが、生化学の方法論や生体関連試料の分析法は知らないことばかりであった。各国から集まる研究者の自由な発想力には、ただただ舌を巻いた。遺伝子工学は目覚ましい発展を遂げ、新しい産業分野も次々創出されたが、米国当時に学んだことは今でも技術内容の理解に役立っている。

第一次湾岸戦争が起こった年であり、米国の国力や普段はまとまらない国民が一丸となった時の凄まじさは強く印象に残っている。



図3. Professor David A. Tirrell

6. 自身唯一の新製品工業化

米国から帰国後、リビングカチオン重合法を用いたテレケリックポリイソブチレン(PIB)の重合法研究に取り組んだ。ケミストとしてピーカースケールの実験から製造プラント稼働までを担当し、会社生活の中で新製品工業化に至った唯一の体験となった。

従前の技術では固形分濃度の上限が精々数%というのが大きな問題であったが、「カチオン重合にそれを持ち込むか」という少々常識はず

れな発想で、固形分濃度を20%台まで向上させたことが工業化につながった。

ただ残念なことに販売が振るわず。商業的には不満足な結果に終わった。企業活動は売れてなんぼ、儲かってなんぼの世界である。マーケティングの重要性が身に染みた。



図4. 液状ポリイソブチレン樹脂

7. 受託分析会社勤務

PIBの工場稼働を見届けると、受託分析を業とする子会社へ出向を命じられた。自分が試作した樹脂を自分自身で分析する立場と違い、お代をいただいて分析を請け負う立場となり、その難しさに呻吟する20年間となった。

社内のマネジメントに加え、技術開発、外販営業、新規開拓、学生採用、広報と、皮肉なことに分析以外は何でも行った。当時は“分析会社にいながら分析はしない、口だけ分析屋”の自虐ギャグを口にしたものである。ただこの時期にモノではなく技術を売る営業を体験し、社会人学生として技術経営(MOT)を学んだ。学会や業界団体での活動にも参加し、これらが一般の技術士開業につながった。

8. 受託分析業界裏表

受託分析業は目立たない業種であるが、日本の製造業や環境活動を支える、なくてはならない存在である。度量衡に直接関係したデータを取り扱うことから、各社は製造業より早い時期から国際標準への対応が求められ、現在もトレーサビリティの確保に神経を使っている。

9. 手痛い失敗の数々

建前として間違った分析結果を出すことは許されない受託分析業であるが、実際にはある頻度で失敗は発生してしまう。苦情・クレームの内容を解析すると、ヒューマンエラーに分類されるもの、中でも特に表計算にまつわるミスが多いことが分かった。転記作業を極力なくし、表計算は事前に検証した登録済みシートだけを使うなど、可能な限りの再発防止策を打った。

ピークの帰属を間違うなど、分析技術の根幹に係る失敗事例もあった。微量分析を行う前に、拾ったピークの定性は間違っていないか、多段に渡って確認することとした。

電子顕微鏡観察も需要が高い分析であるが、見ている画像がアーティファクトではなく真の試料の姿だと断言することは実は容易ではない。電顕写真が果たして全体を代表しているかとの意地悪な疑問に対しては、観察箇所を増やすくらいしか手がないのが実情である。

電顕だけで現象を解釈するのは危険をはらむので是非別の分析も加味するよう、電顕好きな顧客へのアドバイスも行った。



図5. 講演当日の風景

10. 難しい分析課題

樹脂材料の分析として発生頻度は高いが、技術的难度が高いのが、臭気分析と変色の分析である。臭気分析の中で香氣成分はスニッフィング(匂いかぎ) GC-MSの登場で大きく前進したが、悪臭成分は倫理的な問題があり、適用が難しい。また悪臭については、ヒトの鼻が装置のセンサーより鋭敏という本質的な問題もある。

樹脂部材の変色は紫外吸収の裾の広がりやIRでカルボニル生成を確認する程度で終わることが多い。ただ着色成分を分離できる場合は、構造決定まで到達したこともある。

分析手法の選択は、受託分析会社の腕の見せ所である。一見様からの依頼ではこれが難しいが、試料だけでなく背景情報も収集するとピン

トになることが多かった。

11. 非意図的PCBの問題

ポリ塩化ビフェニル(PCB)はビフェニルの水素のうち1-10個が塩素に置換された化合物である。法的には塩素置換数が1(モノ)でもPCBとして取り扱われる。PCBは絶縁油や熱媒として利用されたが、毒性の高さから1973年に製造販売が禁止されている。

ところが赤から黄色系の有機顔料や、フェニルシラン化合物からPCBが検出されて社会問題になったことがある。いずれも製造工程で意図しないPCBが副生する可能性があることが明らかにされた。一度は経産省による指導が行われたが、過去に非意図的PCBを検出したことがある民生品には、注意をお勧めしたい。

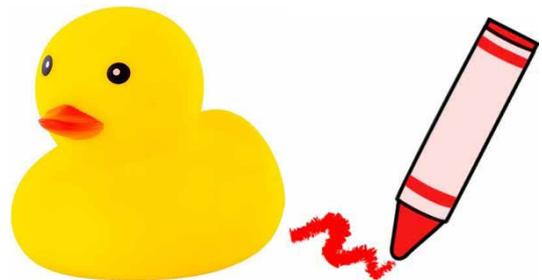


図6. 非意図的PCBを検出したことがある民生品

12. 中国製品にまつわるトラブルの分析

受託分析業に寄せられるスポット依頼には、不良品分析や不具合解析に関するものが多い。部材段階での不良発覚もあるが、最終製品の不良を調べていく中で、部材の不良が原因と判明したこともあった。

現在の工業製品やその部材に多くの中国製樹脂材料が採用されているが、不良品には樹脂製品に必須の安定剤が配合されていないという分析結果を得て驚いたことが何回かある。売買契約前に取り交わしたサンプルと、実際に供給される製品が違う、どこかの段階で低品質品に切り替えられている、という実態も中にはあるようである。

第三者的立場で各種トラブルに接してきたが、海外との取引は国内企業同士の取引と違い、性善説に偏ると危険と感じた。

13. 企業不祥事と分析検査業務

各種の企業不祥事は後を絶たないが、その中には分析検査業務に関わるものも含まれている。発注側との力関係、業界の構造的問題が背景にあると考えられるが、摘発された時のダメージは極めて大きい。

正確な分析結果を出すのが務めであるので、精度管理だけでなく高い倫理観で業務運営に当たりたいものである。

14. 改めて分析とは

時代とともに分析技術は大きく進歩し、その流れは今後も続くことは間違いない。このため“分析装置にかければ結果は出てくるんだろう”と勘違いする経営層さえ出てくる。

分析の基本操作は、多数のビーズが混じった状態から、丹念に色別にビーズを分類し、色毎に個数を数える操作に例えることができる。定量操作一発で分析ができるわけではなく、分析試料を知り、前処理、夾雑物、定量範囲等を考えるところに分析者の力量が出ると思う。分析者のみならず化学者全部に言えることであるが、自動化できる部分はさっさと自動化し、生成系AIが手出しでき

ない部分で今後は勝負すべきであろう。

中川先生が繰り返し言っておられた「分析が全ての基本じゃあ」は、我々化学者が現象や材料に向かい合う際の基本姿勢を論しておられたと思っている。



図7. 分析のイメージ

15. 技術士の紹介とまとめ

技術士法によって技術士という国家資格が定められており、(公社)日本技術士会の21の技術部門、全国8エリアの地域組織で技術士が様々な活動をしている。

各大学において卒業生技術士の組織が作られているが、本学のごきそ技術士会は全国的に見

ても最も活発に研鑽活動を行い、社会に発信を続けている。緑会会員の皆さんは化学、繊維、環境といった部門で素養をお持ちなので、是非技術士資格を取得して、ごきそ技術士会に加入をお願いしたい。

散々恩師のことをネタにしてしまったので、いつか天界から大きな雷が落ちるのではないかと心配しながら筆を置く。

本稿は2023年6月17日に名古屋工業大学内で開催された緑会総会での講演内容を、ごきそ掲載用に再編したものである。

出口義国 紹介



略歴

1982年 名古屋工業大学合成化学科卒業
1984年 同 大学院修士課程工業化学専攻修了
1984年 鐘淵化学工業株式会社
(現社名 株式会社カネカ)入社
2019年 同 定年退職
2023年 同 嘱託満了、技術士事務所開設
技術士(化学部門、総合技術監理部門)
専門職修士(技術経営)、博士(工学)



交流コーナー

ヨット部のファミリーデーと部の現況

柴田 孝介 (Y28)

ファミリーデー

ヨット部恒例のファミリーデーが7月15日土曜日に蒲郡の豊田自動織機海陽ヨットハーバーで開催された。



当日は現役35人、部員の家族33人、OB21人、家族の一員のミニ柴犬君(他にブル君1)から90歳以上のOBまでの合計89人と愛犬2匹が集い午前中はレース用ヨット数隻・モーターボ-



ト2隻・OB会のクルーザーに分乗して存分に海を楽しみ、午後は艇庫前でのバーベキュー大会で盛り上がり、最後は部員のスイカ割りで久しぶりの大会に幕を閉じた。

ヨット部のファミリーデーは艇庫が常滑の鬼崎海岸にあったころに始まってすでに50年以上続く伝統行事になっている(ごきそ148号1946年5月に写真と記事あり)。例年は学長はじめ大学の関係者の参加も得ていたが、コロナ後の再開で内部者だけの参加になったことはいささか残念であった。

ヨット部の現況

名工大ヨット部は現在部員39名、内女子部員7名で活発に活動している。

主要メンバーは、部長・市村正也教授(電気機械工学科)監督・石川雅浩(H18・Z2006卒)主将・加藤雅基(生命応用化学科)OB会(名工会ヨットクラブ)代表幹事長・谷川宏治(S55・ES55卒)

最近特筆すべきことは、OB樽谷氏(K36卒)^{*1}からの超大型基金援助で物心両面での発展が目覚ましく、外部コーチの招聘、関東関西への遠征レース参加、新艇数隻の購入と活気にあふれている。

当部はかつて全日本インカレで二度の準優勝

を飾るなど(S36年とH14、残念ながら優勝はない)全国レベルを誇っていたが、その後は東西主力大学の選手セレクション入学などもあり、地方勢の入賞は難しいという状態。

ここで当部は一念発起全日本インカレの入賞を目標に掲げて強化に全力を注いでいるのが現状。

本年は9月17日からの中部インカレに勝って11月1日から福岡で開催される全日本インカレでの入賞を目標に激しい練習を続けている。

※1 樽谷氏について

1960年ころから70年代にかけて日本選手権や国体スナイプ級で連戦連勝を重ね国内に敵なしと言われた。1963年にはM33篠田氏M37の埜氏とともにフランスで開催されたスナイプ級世界選手権に臨み参加23艇中9位、帰国時には「艇を持ち込み一週間ほど現地で練習すれば入賞は可能(現地でのチャーター艇は日本とトルコのみ)」と強気だった。その後もバーミューダでの西半球選手権などにも参加している。

あなたも「ごきそ」の表紙を飾ってみませんか？

名古屋工業会誌「ごきそ」表紙掲載写真募集

一般社団法人名古屋工業会（名古屋工業大学全学同窓会）では、会誌「ごきそ」を幅広い年代の方が交流できるツールとして活用いただけるよう、同窓生の皆様から随筆や紀行などの原稿と共に、表紙に掲載する写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただく写真や写真データ(JPEG)は次の要領でお願い致します。

- * 未発表の作品で、他への応募予定のないもの
- * プリント写真ならば2 L判程度の大きさ、写真データならば左右のピクセル1,000以上
- * 構図は縦長（縦位置）を希望（横長の場合はトリミングさせていただきます）
- * 作品のタイトルと簡単な説明、撮影者の氏名（卒業学科・卒業年）及び連絡先を明記
- * 国立大学法人の同窓会誌のため政治色や宗教色を感じさせるものは避けてください。
- * 肖像権が生ずるような人物が特定できるものは避けてください。
- * 採用の写真は編集会議で諮ります（投稿＝掲載とはならないことをご了承ください）
- * 表紙に採用された場合は薄謝（クオカード等）を進呈いたします。

【送り先】 〒466-0061 愛知県名古屋市昭和区御器所町字木市29番
国立大学法人名古屋工業大学 校友会館内
一般社団法人名古屋工業会
E-mail : gokiso@lime.ocn.ne.jp

交流コーナー

名工大硬式野球部奮闘記&応援記

大須賀崇真 理工学学科3年 硬式野球部主将
大鹿 秀正 理工学学科非常勤講師(F47)

2023年愛知大学野球連盟3部春季リーグで名工大硬式野球部が見事に7戦全勝で優勝! 大須賀主将が、5月時点での2部昇格への想いと2部リーグ開始前の8月時点での2部での活躍の誓いを奮闘記としてまとめた。学内外への硬式野球部広報を応援団の目で大鹿が応援記とした。

1. 奮闘記(大須賀主将)

2部リーグ昇格へ向けて(5月)

- ・3部春季リーグ戦7戦全勝で優勝を果たすことができた。
- ・最後まであきらめない気持ちで一丸となって戦った。
- ・勝てば優勝が決まる南山大学との試合で、チームの要である4年生山中選手がスリーランホームランを放ち逆転。
- ・ベンチで選手みんなが感情を爆発させた。
- ・部員同士で意見交換して互いに切磋琢磨。
- ・今はチーム全体として同じ方向を向いて試合に臨むことができています。
- ・昨年は名商大に力の差を見せつけられたが、勝てない相手ではないこともわかった。
- ・支えてくださっている保護者や気にかけてくださるOBの皆様、そして監督伊藤先生、部長加藤先生への感謝の気持ちを忘れずプレイしたい。



写真1: 日本プロスポーツ専門学校とのオープン戦(8/5)
(宣言どおり思い切りのよいバッティングの主将)

- ・昨年の入替戦ではたくさんの声援をいただき、スタンドから熱い応援を受け、それが力になった。

2部活躍に向けての決意(8月)

「主将として誰よりも練習して、1番打者としてチームに勢いを与える思い切りのいいバッティングをして勝ちに繋げたい。」

「初の2部での挑戦だが、挑戦者として自分達で流れを掴んで、自分達の野球をして勝ちに繋げたい。」

2. 応援記

4月29日(土) 3部春季リーグ優勝を決めてから4週間後。

5月27日名古屋工業会総会で理事退任後の、懇親会で、入替戦へ向けて野球部への応援寄せ書きをお願いできた。職権乱用(笑)。

野球部OBの20年来の2部昇格への祈りだけでなく、この寄せ書きが野球部部長加藤先生と大須賀主将を通じて選手諸君に伝わった。



写真2: 名古屋工業会応援寄せ書

名工大硬式野球部が21年ぶりに2部昇格の快挙達成!

愛知大学野球連盟2部3部入替戦。※の対戦相手は名古屋大学となった。

名古屋大との入替戦は、お天気に恵まれた。

※先に2勝したチームが2部へ。

6月3日(土)のパロマ瑞穂野球場での第1試合では、計測会役員の守田さんと最前列で声をからして声援。いきなりミスがからみ大量点を取られても、ピッチャーが粘って3回の表に逆転。劣勢からの見事な逆転勝利。とはいえ、相手の名大も良いチーム、結果は紙一重だった。



写真3：入替戦1試合目 (6/3 応援挨拶)



写真4：入替戦2試合目 (6/4昇格を決めた夢の瞬間)

6月4日(日)の名城大日進グラウンドでは、1回の裏に怒涛の攻撃で一挙に4点先取。最後相手の名古屋大の粘りにはハラハラドキドキ。我が名工大チームは、ミスを恐れないプレイとファインプレイ続出だった。ゲームセットの瞬間はマウンドにかけよる選手たちをスタンドから目で追った。

選手と一緒にバンザイ！すぐそばの選手のお父さんと、「よかったですねー」とグータッチ！

暑い中、応援席から熱心な声援を送るOB、選手のご家族や友人の皆さんと一緒に喜びを分け合いました。



写真5：バックネット裏で応援するOBと (6/4)

監督、コーチ、選手、ベンチ、マネージャーが一丸となった名工大チーム。

監督の伊藤先生の采配も見事なら、これまで努力してきた全員のチームワークの勝利だった。

試合後の選手を集めた監督ミーティングで、野球部OBではない自分がお祝いの挨拶をさせてもらった。「自称野球部(私設)応援団長の小鹿です(笑)いいモノを見せてもらった。感動をありがとう!」

春季リーグ最後の2戦から入替戦まで、ずっと現地で名工大チームの感動ゲームを応援できたのはラッキーで、関係者の皆さんに感謝しかない。

千種グラウンドでの練習日の6月8日(木)、雨も降っていたため自主練習になったと聞いて、様子を見に行った。

遅かったが2年生4人と1年生2人が残っていた。それが頼もしく見えた。

6月17日(土)の星城大との新人戦では選手に大声で声援を送った。残念ながら7回コールド負けだった。

2部での戦いは一段と厳しくなるのは間違いないので、結果がどうなるうとも、できる限りの応援を継続したい。応援トレーナーと来年度の(私設)応援団長を募集中です。

★秋季リーグ以降も、名工大硬式野球部へ大きなご支援とご声援をお願い申し上げます。ごきその読者の皆さんが一人でも多く、選手の頑張りを現地で見ていただけたら嬉しいです。

ホットライン

名工大オープンキャンパス 開催(8月1日)



模擬授業を熱心に聴き入る高校生(2323講義室)

名古屋工業大学では、8月1日(火)に第2回オープンキャンパスを開催しました。当日の名古屋の最高気温は36.6度という猛暑の中でしたが、全国から集まった高校生と保護者3191人は、受付を済ませ、お目当ての講演会、模擬授業、研究室見学、学科別相談会などの各会場に向かっていきました。模擬授業では、楽しく良い経験ができた、進路の参考になったなどの意見がありました。

ほかにも、学内見学ツアーに多数の高校生が参加し、案内役の在学生も将来の朋輩に名工大の魅力を熱く伝えていました。



総合受付に向かう参加者



学内見学ツアー風景

新聞記事コーナー

中日新聞

掲載日	刊	面	氏名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2023/6/18	朝	15	self made	在学生	起業アイデア 学生が競う
2023/6/23	朝	1	各務学	未来通信研究センター	自動運転 見えた光通信 車載ネットワークに活用 標準化 普及に欠かせず 名工大、専用施設で協力
2023/6/23	—	—	産学官金連携機構	—	アラカルト 名古屋市×名古屋工業大学×名古屋市立大 ロボット・AI・IoT導入「経営人材育成講座」参加者募集
2023/6/24	朝	1	名古屋工業大学	—	生成AI割れる大学指針 中部52校 18校が策定や計画
2023/6/24	朝	19	名古屋工業大学	—	アラカルト 市民講座 優しい表面と真空の科学
2023/6/27	中濃版 朝	14	松本直司	名誉教授	「株杉」が景観重要樹木に 板取のシンボル 5本 関市が初の指定
2023/6/30	朝	13	名古屋工業大学	—	学ぶ 生成AI 警戒と模索と 中部52大学調査
2023/7/7	朝	3	名古屋工業大学	—	核心 ノーベル賞受賞者 ロシア非難 白川英樹さん語る 戦後 平和になったから好きな研究できた
2023/7/8	朝	29	白井 孝	生命・応用化学専攻	湯呑の緑茶を紅茶に? 陶磁器の吸水防止で塗る「釉薬」
2023/7/19	夕	2	北川啓介	社会工学専攻	トルコ・シリア地震5カ月ルポ 酷暑 避難生活いつまで 相次ぐ崩壊、無残耐震性低く「防げた被害」
2023/7/23	WEB	/	白井 孝	生命・応用化学専攻	<内堀外堀> 日本茶
2023/7/26	WEB	/	加野 泉	ダイバーシティ推進センター	男女平等の順位 日本は125位
2023/7/30	朝	25	ジークス	在学生	在宅勤務医師 オンラインで活躍 診療と育児 上手に両立 名大、名工大の学生発ベンチャー
2023/7/31	西河 総合版	/	名古屋工業大学	—	断熱効果追及 白い瓦 高松のメーカー製「エコハート」
2023/8/3	北陸版 朝	/	分島彰男	電気・機械工学専攻	無線送受電の開発へ JAXAと共同研究 金沢工大など
2023/8/3	朝	26	白松 俊	情報工学専攻	GPTインパクト 人材の育成へ「ワタシと議論しよう」 架空の人物相手に進行力磨く



情報 ネットワーク

2023(令和5)年度 名古屋支部総会開催報告

6月24日、2023年度名古屋支部総会を開催しました。おかげさまで昨年度に引き続き、大学内の講義室を利用させていただき、対面方式で開催することができました。

総会には来賓として、工業会本部からは仁科常務理事、内藤相談役、森川参与、大鑄理事に、大学からは河邊学長特別補佐にご臨席賜りました。河邊学長特別補佐には、大学の近況についてお話ししていただきました。その後、2022年度事業報告・会計報告、2023年度事業計画・事業予算について審議を行い、いずれの議案も、出席された会員の皆様に、ご承認をいただくことができました。

また、支部総会と併せ、大学学務課のご協力を賜り、公益財団法人名古屋まちづくり公社中菌昭彦常務理事（A58）、㈱日建設計 杉浦盛基プリンシパル（A③）、名古屋工業大学 夏目

欣昇准教授（A⑤）、名古屋市住宅都市局 横井智雄課長（A⑩）の4名を講師にお招きして、名古屋工業大学全学公開講座「重要文化財名古屋テレビ塔と久屋大通公園の整備」を開催しました。こちらは一般受講者42名を含め120名の皆様にご参加いただき、講演後のアンケートでは5点満点中4点以上が95%を占めるなど大変盛況な講演会となりました。

さらに、大学会館において、4年ぶりに懇親会を開催し、久しぶりに支部の会員同士が交流する貴重な機会となりました。

今後は、支部総会でご承認いただいた2023年度事業計画・事業予算に基づき、支部活動を行ってまいりますので、会員の皆様のご理解、ご協力のほど、宜しくお願い致します。

記：宇佐美 智伯（A⑥）



小山支部長のあいさつ



仁科常務理事のあいさつ



河邊学長特別補佐のあいさつ



講演会（全学公開講座）の様子①



講演会（全学公開講座）の様子②



懇親会の様子

2023年度 東北支部総会報告

6月10日(土)に仙台市青葉区のホテル白萩に於いて、2023年度名古屋工業会東北支部総会及び懇親会を開催しました。2019年以来の対面開催することができ、来賓として工業会本部より横山理事長をお招きし、羽鳥支部長(C57)以下10名、全11名で懇親を深めました。久しぶりに皆様のお元気な顔を拝見し、同窓が集うのはやはり素晴らしいものであると実感しました。

はじめに、横山理事長より母校の動向と名古屋工業会の活動状況についてご報告をいただきました。

引き続き2022年度事業活動結果及び決算・監査結果、2023年度事業活動計画及び予算案、2023年度役員案について報告し確認しました。

2023年度の東北支部は、昨年引き続き次の体制で運営してまいります。

支部長 羽鳥明満(C57)
幹事長 鈴木 聡(C57)
幹 事 佐藤拓弥(CM27)
幹 事 鈴木誠也(CM25)
監 査 齋藤文伸(A51)

また、翌日には恒例の名古屋工業会東北支部長杯ゴルフ大会(第42回)を開催しました。宮城県大和町にある「たいわゴルフクラブ」に於いて、東北の雄大な自然の中で思い切りプレーし親睦を深めることができました。羽鳥明満さん(C57)が優勝し、支部長杯が授与されました。

支部役員一同、ご参加いただきました皆さまに感謝申し上げます。

今後も引き続き楽しいイベントを開催できればと思っております。会員の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

記：鈴木誠也(CM25)



2023年度名古屋工業会東北支部総会参加者



第42回東北支部長杯ゴルフ大会参加者



大会優勝者羽鳥明満さん(右)

令和5年度 北陸支部総会報告

令和5年度名古屋工業会北陸支部総会が7月8日に石川県小松市で開催されました。あいにくの雨でしたが総勢27名がこまつの杜の見学、北陸支部総会及び懇親会に出席しました。



第1部 こまつの杜見学

小松製作所小松工場の跡地に設立されたこまつの杜を見学し、島本館長によるこまつの杜の活動内容や小松製作所の説明を聴講しました。

その後こまつの杜内にある「わくわくコマツ歴史館」に移動し、小松製作所の創業期から現在に至る100年の歴史を紹介する展示を観覧しました。また、こまつの杜に展示されている超大型油圧ショベル「PC4000」に搭乗しました。



第2部 北陸支部総会

小松市にある料亭小六庵で加戸孝太郎会計・石川幹事（B49）による開会の辞により北陸支部総会が開始されました。横山裕行本部理事長（K49）、竹田敏洋支部長（B41）よりご挨拶を頂きました。その後、コマツ産機(株)道場栄自さ

ん（F60）による、コマツ産機(株)が手掛けるプレス機械や工作機械におけるIOTやDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みについての講演が開かれました。



竹田敏洋支部長



横山裕行本部理事長



コマツ産機(株) 道場栄自氏

第3部 懇親会

総会の後に同じく料亭小六庵で懇親会が行われました。黒田茂評議員・富山幹事（M47）による乾杯の音頭で始まり、和やかな歓談と出席者全員の近況報告がありました。終わりに名古屋工業大学の学歌を吉岡正盛評議員・福井幹事（B58）の指揮に従って全員で斉唱して盛り上がりました。

記：加戸孝太郎（B49）



2023年度 広島支部総会報告

2023年6月17日（土）15時～17時、サテライトキャンパスひろしま（5階 504 中会議室）にて、2023年度名古屋工業会広島支部総会を開催した。

最近の広島支部総会の参加者数は、鶴飼学長の参加により過去最高を記録した2018年が34名、2019年が26名、そして2年間のコロナ禍による中止を経て、2022年が21名と減少傾向にある。その歯止め対策として、名古屋から来賓として臨席頂いた横山裕行（K49）新理事長が、トヨタ自動車工業で専務取締役、ダイハツ工業で副社長をされていたので、卒業生の多いマツダ関係の方に少しでも興味を持ってもらえばと思い、「トヨタとはひと味違うダイハツのモノづくり、コトづくり」と題して特別講演をお願いした。トヨタが高価格、高コストのクルマ開発に傾倒しがちに対して、ダイハツは安くても「いいクルマづくり」を目指している等のお話であった。

また、母校や同窓生が活躍している姿を見るのは、私の様な第二の人生を迎えている者にとっては誇りに思え、「こんな面白い仕事に携わっている」といった話題提供のコーナーを今回試行してみた。そのトップバッターは、西村経済産業大臣など著名人の見学が相次いでいる大崎クールジェン(株)の細越俊哉（ES-H4）副

社長に、「革新的低炭素石炭火力について～大崎クールジェン・プロジェクト」と題して講演して頂いた。その結果、当初、常連の方の欠席連絡が相次ぎ参加者が集まるか心配したが、二つの講演のお陰もあり、昨年よりも多い23名の参加であった。総会終了後は、そごう10階のMadam Xenlon（マダムシェンロン）に移動して懇親会を開催し、参加した22名全員が近況に関するスピーチを行い、楽しく名古屋での昔話に花を咲かせた。

私の学生時代は、国立2期校のため地元の学生は1割程度しかいなかったが、今は逆転して県外の学生が1割程度しかおらず、広島支部総会の高齢化が懸念されるが、初参加のマツダの若手社員が、スピーチで来年は後輩を誘って参加すると力強く宣言され、若手の参加が増えるのを期待したい。

記：大田 一夫（C47）



岐阜支部 令和5年度総会報告

(一社)名古屋工業会岐阜支部の令和5年度総会及び懇親会を、令和5年5月13日(土)午後5時から岐阜駅前のホテルリソル岐阜に於いて、会員25名の出席にて開催しました。

新型コロナで3年間中止していましたが、本年度は開催致しました。総会前、午後4時から支部活性化事業の一つとして講演会を行い、今年度は、C54の浅野一郎氏にお願いし「Wonderful HOKKAIDO」北海道の魅力と題して、ご講演いただきました。

北海道の魅力をYouTubeの動画を用いて、道央、道北、道南、十勝、オホーツク、釧路・根室の観光地の紹介から始まり、更に、食や花、各地の祭りなどテーマごとの説明がありました。北海道のいいところが存分に楽しめた、有意義な講演会でした。

一旦休憩した後、令和5年度岐阜支部総会を開催しました。最初に大久保支部長(Es44)より開会挨拶の後、来賓の名古屋工業会浅井慶一郎副理事長に挨拶をしていただきました。浅井副理事長からは名古屋工業会の現状や大学への協力などについてお話をいただきました。その後、令和4年度の事業報告、令和5年度の事業計画、役員改選等の議案を上程し、滞りなく議決していただき、議事を終了しました。役員改選によりC53各務剛児氏の挨拶があり総会を閉じました。

総会終了後に、参加者全員で集合写真を撮影し、懇親会を行いました。今回の参加者は例年より少ない25名でしたが、更に会員増強のため今後の活性化に取り組んでいく所存です。

記：岐阜支部代表幹事 糸見義雄(E51)



岐阜支部総会総合写真

第71回市民親善ゴルフ大会にて

広島支部の村神哲也氏(F43)が優勝!

2023年5月5日(金)、広島ゴルフ倶楽部(広島市佐伯区)で開催された「第71回市民親善ゴルフ大会」において、計測工学科を昭和43年に卒業された本会会員の村神哲也氏が、167名の参加者の中、OUT42+IN42=グロス84、HDCP15.2、ネット68.8の好スコアで見事優勝されました。

村神氏は広島支部主催のゴルフコンペにも参加されており、昨年11月に宮島カンツリー倶楽部(広島市佐伯区)で開催した「第3回広島支部ゴルフコンペ」でも優勝されています。

村神氏は、喜寿を過ぎられても健康のためにホームコースの宮島カンツリー倶楽部を中心に週に1～2回はラウンドされており、月に一度は私も誘って頂き大学の同窓生仲間と楽しくラウンドされています。機械の様な正確なショットと、ニュートンの運動方程式(放物運動)により飛距離を計算するなどのゴルフに対する研究熱心さには、いつも驚かされています。

記：広島支部長 大田一夫(C47)



第255回 名工会東京支部ゴルフ大会報告

掲題6月1日(木)に濟木良亮様のご紹介により千葉県の中山カンツリー倶楽部で開催されました。

当日は雨天の合間の好天に恵まれ参加者14名がOUTスタート4組で熱戦を繰り広げ、全員が無事にホールアウトいたしました。

結果は、前回に引き続き幹事だった私A40篠原克彦が、グロス85、ネット71で優勝しました。

準優勝はB45林 利信さん(グロス85、ネット72)3位はM36野澤滋為さん(グロス104、ネット76)でした。飛び賞は5位がA40三好 修さん、10位がD36加藤精也さん、ブービー賞が藤田正浩さん、大波賞がD35濟木良亮さんが(60→55)で後半5打向上で獲得しました。小波賞又は水平賞はM39津田卓美さんが(52→52)の前後半同じで水平賞を獲得されました。

ニアピン賞は5番がB48石川 正さん、7番がA40篠原克彦、15番がA40三好 修さん、17番がE33藤田正浩さんがそれぞれ獲得しました。

プレー終了後の懇親会では受賞者の挨拶等賑やかな懇談の内に無事大会を終了しました。

なお次回(第256回)は9月21日(木)大厚木CC桜コースで開催される予定です。

次回大会実行委員よりご案内をいたしますので、多数のご参加をお待ちしております。

また、当会の活動問い合わせ、入会ご希望、ゲスト参加のご希望等ある方はM39津田卓美(nogitsuda3110@gmail.com)までご連絡ください。

実行委員：篠原克彦 (A40)
加藤精也 (D36)



前列左から：B45林 利信、D35濟木良亮、M34津田卓美
C34田北元良、E33藤田正浩、M36野澤滋為
後列左から：B48石川 正、M51西口義久、G62中村理恵
A40篠原克彦、A40三好 修、A40馬嶋 建
D36加藤精也、C52入矢桂史郎

(以上敬称略)

第134回 名工大ごきそ会報告

第134回名工大ごきそ会は、令和5年6月8日(木)愛知県みよし市に位置する三好カンツリー倶楽部で12名の参加を得て開催されました。当日は曇り空でしたが、天候に恵まれ美しい三好のコースを満喫できました。

今回はスタート時間が10時4分と遅めでしたが、スループレーのため3時頃には全員プレーを切り上げることができました。優勝者は梶原俊彦さんで、グロス91、ネット74の立派なスコアでした。OUT・IN通じ遺憾なく実力を発揮されました。準優勝者は森井敏彦さんで、グロス105、ネット76の成績でした。第三位は加藤倫朗さんで、グロス102、ネット79の成績でした。BB賞は水谷尚美さんが獲得しました。特別賞としては、ベストグロス賞は梶原さんと同スコアの平岡雄偉さんがグロス91の成績で獲得されました。ニアピン賞は泉地正章さんが2本、平岡さん1本の2名でした。バーディー賞は今回ありませんでした。おしどり賞は岡田聡さん、泉地さんの2名、大波賞は市橋洋志さん、汗闘賞は伊藤哲夫さん、という結果でした。

プレー後の懇親会席上で赤井憲彦さんから令和4年度の会計報告をいただきました。特に問題なく承認されました。次回は加藤様のご紹介で10月6日(金)豊田市に位置する藤岡CCでの開催を予定しております。

名工大ごきそ会は愛知県内のゴルフクラブで年4回開催しています。ごきその会員であれば、誰でも参加できます。興味のある方は山田までご連絡ください。

(E-mail:kazuoy50@gmail.com)

記：山田和男(E47)



工大祭「名工大歴史館」今年もやります

昨年、初めての試みとして工大祭期間中に「名工大歴史館」をオープンしました。場所は正門入ってすぐ、右手の突き当りの校友会館です。

名工大の前身の名高工から現在の大学に至るまでの歴史を紐解く企画となっています。

在学生には、自分の大学の歴史を知ってもらい、受験生や保護者、一般の方々には、名工大をより親しく感じてもらう、そんな企画です。

日 時：2023年11月18日(土)、19日(日)の工大祭期間中です。

場 所：学内の校友会館 2階

入場無料です。

皆さま多数の御来場をお待ちしております。

訃				報			
別所 茂	C21			中嶋(旧:石丸) 乃	E56		
藤井 生律	C31	R 4.	3. 30	今枝 勉	W28		
大内 雅博	C35	R 3.		川口 邦彦	W31	R 2.	11. 14
中根 澄夫	C35			河野 尚武	W32	R 4.	9. 25
高畠 哲也	C36	R 4.	8. 1	日比 貞雄	W35	R 5.	3. 16
長谷川 幸也	C36	R 5.	2. 1	西川 尚武	W37	R 4.	10. 24
伊藤 伸一	C50		7. 16	加藤 稔也	D35	R 3.	11. 29
田川 浩二	Sc③			伊藤 治之	D39		
鍋島 三郎	A37	R 5.	2. 23	白木 栄太郎	D41	R 5.	2. 7
青木 昭二	M22			石原 浩一	D42	R 4.	5. 6
山崎 秀夫	M23	R 5.	3. 7	嶋田 幹也	G59	R 4.	12. 17
幸村 隆夫	M24	R 4.	12.	中村 寿男	Y38		
鵜飼 利雄	M28	R 3.	11.	後藤 幸彦	K23	R 2.	11.
山田 和男	M28	R 2.	11. 26	荒川 俊夫	K29		
山本 孝	M44	R 5.	7. 8	田島 邦典	K32	R 4.	12. 22
新 剛実	E32	R 5.	4. 18	石川 直	K35	R 3.	9. 14
岡野 修	E32	R 4.	11.	山内(旧:下井)大助	Ⓚ19	R 2.	6. 5
屋内 史郎	E36	R 5.	7. 20				

謹んで哀悼の意を表します。

第46回 経友会総会・講演会のご案内

第46回 経友会総会ならびに講演会を以下の通り開催いたします。お誘い合わせの上、多数ご出席くださいますようお願い申し上げます。なお、同日は工大祭が併行して開催されています。

日 時：2023年11月18日(土) 11:00～12:30

会 場：名古屋工業大学 4号館 2階会議室 3

内 容：10:30～ 受付開始 4号館 2階

11:00～11:10 経友会総会 4号館 2階会議室 3

11:10～11:30 大学近況報告

11:30～12:30 講演会

講師：斎藤 賢宏 氏

株式会社デンソー モビリティエレクトロニクス事業グループ統括部長

(1988年 経営工学科 卒業、1990年 大学院生産システム工学専攻 修了)

「人が中心の無人工場を目指して ～デンソーのモノづくり革新への挑戦～」

要 旨：

100年に一度の大変革の先に幸福循環社会の実現を目指すデンソーでは、次世代工場の姿を描きモノづくり革新に挑戦しています。究極的には、工場には直接作業をする人がいない無人工場を目指しますが、その過程で活躍するのは「人」であり、実現した無人工場を進化し続けるのも「人」であると考え、人が中心(=主役)となるための工場DXを進めているデンソーの取り組みを紹介し、これからの日本の製造業の勝ちシナリオについて提案します。

共 催：名古屋工業大学 社会工学科 経営システム分野

後 援：名古屋工業会

※参加申し込み方法等の詳細は、名古屋工業大学 経友会ウェブサイトにてお知らせします。

<https://keiyukai.web.nitech.ac.jp>



2023年度名古屋支部見学研修会のお知らせ

2023年度工業会名古屋支部見学研修会を下記の通り開催致します。会員の皆様におかれましては、是非、ご出席頂きたくお願い申し上げます。なお、新型コロナウイルス感染症のまん延状況によっては、見学研修会の開催を中止させていただく場合もございますので、予めご了承ください。よろしく
お願い申し上げます。

記

1. 日 時：2023年11月11日（土）
2. 行 先：岡崎城、大樹寺、岡崎信用金庫資料館、ホテルコンコルド浜松（昼食会場）
浜松大河ドラマ館、うなぎパイファクトリー
3. 行 程：J R 鶴舞駅病院口東側（7：40 集合／8：00 出発）
→岡崎公園・岡崎城【見学】（8：50～10：00）
→大樹寺【拝観】・岡崎信用金庫資料館【見学】（10：10～11：40）
→ホテルコンコルド浜松【昼食】（13：00～14：30）
→どうする家康浜松大河ドラマ館【見学】（14：50～15：50）
→うなぎパイファクトリー【見学・買物】（16：25～17：00）
→J R 鶴舞駅病院口東側（19：20頃 解散）
※時間は目安です。
4. 会 費：大人 6,000円（同伴者も同額とさせていただきます）
小人 4,000円（小学生まで 昼食は小人食をご用意させていただきます。）
※会費の支払いにあたっては、後日、郵便振替用紙を参加希望者に送付させていただきますので、その用紙を利用して会費納入を行っていただきます。
5. 申込期間：2023年9月15日（金）から10月15日（日）
※ただし、申込者数が80名に達した時点で、受付を終了させていただきます。
6. 申 込 先：参加希望される方は、下記①②のいずれかの方法でお申込みください。

①申込用フォーム

下記リンクまたは右のQRコード先からお申込みください。

<https://forms.gle/hGGN6qFwJ5n4UDbv9>



②メール

下記の支部連絡先へご連絡下さい。お申込みの際は、参加者の氏名（フリガナ共）、単科会名、卒業年次、年齢、性別、住所、連絡先（メールアドレス・見学会当日連絡用の電話番号）をお教えください。同伴者がいる場合は同伴者全員の氏名（フリガナ共）、年齢、性別も併せてお教えください。なお、お教えいただいた情報は見学研修会に関わる連絡及び旅行保険の加入のみにしか使用しません。

支部連絡先：宇佐美 智伯（名古屋工業会名古屋支部庶務幹事）

e-mail：kougyoukai@archi.ace.nitech.ac.jp

2024年度 大阪支部総会のご案内

名古屋工業会大阪支部 支部長 堀口大輔 (C59)

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

2024年度大阪支部総会を下記のとおり開催します。新型コロナウイルス感染対策に配慮しつつ、会場開催を前提として、ネット参加併用のハイブリット方式にて開催します。竹中工務店の中島様に、梅田阪神百貨店の建替え工事についての講演も計画しております。また、総会後には4年ぶりに懇親会を開催の予定です。久しぶりに顔を見ながら話す喜びを感じていただければ幸いです。

どうぞ、同窓の方に声をかけていただき、今まで参加されたことのない方、遠方の方もお気軽にご参加ください。他支部からの参加も大歓迎です。懇親会のみでもご遠慮なくご参加ください。

申し込みは、9月22日(金)までをお願いします。

記

1. 日 時：2023年10月7日(土) 14:00～16:00 (懇親会：16:15～17:45)

2. 開催場所

(1) 会場：「中央電気倶楽部」 511号(西館) (通常120名の会場)

大阪市北区堂島浜2-1-25 <https://www.chuodenki-club.or.jp/map/annai.html>

※ただし、定員に限りがありますので、お断りする場合があります。

まん延防止措置等の行政からの対応が発出された場合は、ウェブ会議のみとなる場合があります。

(2) ウェブ参加：使用予定ツール Cisco Web Meetings

①ウェブミーティングの接続は13時半から可能にします。

②ウェブ参加予定者の方には、事前にWebex ミーティング招待状を送信します。

③ウェブ会議参加予定者の方には、事前に接続確認(予行演習)のウェブ会議をいたします。

接続確認の予定日は、参加予定者の方に追ってご連絡いたします。

3. スケジュール

第1部 支部総会 14時～14時50分

①支部長挨拶、ご来賓挨拶(ビデオの場合もあり)

②2023年度活動結果・決算報告、2024年度活動計画・予算の審議

③その他

第2部 講演会 15時～16時

「阪神阪急梅田一丁目一番地計画(阪神百貨店建替え計画)の計画と実施について」

講師 中島 正人氏 (1997年建築学科卒、1999年大学院修了)

略歴 1999年 株式会社 竹中工務店 入社

2000年 南海難波A-1地区N棟作業所(なんばパークスオフィス棟)

2006年 竹中技術研究所地盤基礎部門・大阪本店生産統括部

2008年 京阪香里園駅東再開発作業所

2011年 近鉄阿倍野タワー館作業所(あべのハルカス)

2014年 阪神阪急梅田一丁目一番地計画作業所(阪神百貨店)

2019年 大阪本店 技術部

2023年 大阪万博リング西工区 作業所長

概要 日本ではじめて道路上空と道路直下に建築物を建設したプロジェクトストーリーについてご紹介頂きます

4. 懇親会：中央電気倶楽部 食堂にて 立食形式
 5. 参加費用：6,000円（令和卒業生は3,000円、但し、令和5年卒業生、学生、Web参加無料）
 ※総会・講演会のみ参加の場合 無料

6. 申し込み方法その他：

(1) 下記の連絡先へメールにて、ご連絡ください。

卒業学科、卒年、氏名、連絡先、ご来場か、ウェブ会議かを連絡ください。

(2) 懇親会不参加の方は、参加費用は無料です。

(3) ウェブ会議参加予定者の方に、Webex ミーティング招待状を送信します。

(4) 連絡先

ウェブ会議の参加方法などのご質問・提案は堀口あるいは総務委員長の小山まで連絡ください。

堀口 090-9169-4563 d-horiguchi@kcc.zaq.ne.jp

小山 080-3575-0648 akira_koyama@sanyohomes.co.jp

7. 申し込み締め切り：

2023年9月22日（金）までに各単科会等連絡窓口迄ご連絡ください。

●申し込み先

単科会名	連絡先	メールアドレス
C E 会	堀口 大輔 (C59)	d-horiguchi@kcc.zaq.ne.jp
光鯨会	竹内 健一 (AH03)	ktakeuchi@fujita.co.jp
巴 会	掛田 健二 (M45)	akeyan.ken@gmail.com
電影会	荻原 義也 (E50)	ogihara_yoshiya@nissin.co.jp
双友会	小山 征治 (W42)	qtmx47101@ares.eonet.ne.jp
緑 会	竹村 邦和 (G57)	k-takemura@fujii-mfg.co.jp
名窯会	川島 謙 (Y44)	ken-kawashima@sound.ocn.ne.jp
名晶会	田口 教平 (K44)	taguchi.fkkt@hera.eonet.ne.jp
計測会	坂尾 健司 (F55)	k.sakao.tns@gmail.com
経友会	廣島 清剛 (B50)	art11328@nitech.jp
学生会員	堀口 大輔 (C59)	d-horiguchi@kcc.zaq.ne.jp
事業委員会	川越 英二 (E47)	kawagoe2017@outlook.com
若手・女性部会	坪田 博隆 (M51)	h.tsubota.183@nitech.jp

●ウェブ (Cisco Webex Meeting) 会議の参加について

システム概要

Cisco Webex Meeting

<https://www.webex.com/ja/video-conferencing.html>

Webex Meetings Suite システム最小要件

<https://help.webex.com/ja-jp/nki3xrq/Webex-Meetings-Suite-System-Requirements>

Webex ミーティングへの参加

<https://help.webex.com/ja-jp/nrbgeodb/Join-a-Webex-Meeting>

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで
開発設計、品質、生産技術、生産まで

研修・講演

技術系全25講座 ー材料、加工、設計、電気・電子、
組込コンピュータ、各種要素技術…
品質系全30講座 ーDRBFM、なぜなぜ分析など
各種未然防止手法
マネジメント系全10講座 ー経営品質、もしどらラッシュ、
プロジェクト管理…

《Benchmarking》電動化・自動運転化コンポーネント等

WORLDTECH 株式会社 **ワールドテック**

代表取締役 寺倉修 (F50)

〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目28番12号 名古屋若宮ビル6階
TEL : 052-211-7861 E-mail:solutions@worldtech.co.jp

「本気」で結婚を目指す
名古屋工業大学会員様の
「成婚」をサポートいたします。

45年の実績

名古屋工業大学 コース

通常登録料
33,000円(税込) ▶▶ **0円**

定期的に「親御様無料説明会」を開催中です。
45年に渡るノウハウでお子様との会話の秘訣を
お伝えしています。
HP・フリーコールよりお気軽にご相談ください。



あなたと未来をつくる
Bridal
https://www.bridal-vip.co.jp/

0120-415-412

営業時間：平日 10:00~20:00 / 土・日・祝 10:00~18:00
定休日：月曜日(祝日は除く)・年末年始



企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお値打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・
パンフレット・ポスター・定期発行物
etc.
タイプ・電子組版時代から書き上げら
れたノウハウはDTPにおいて、特に
不得意とされる縦組みの書籍・表組み
の買物も得意分野です。

印刷

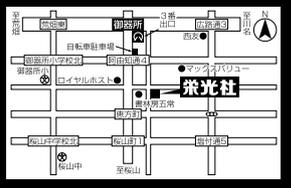
カラー印刷・2色刷り・1色刷り・特色
刷り、品質・部数・ご予算に応じて提供
いたします。
Macintoshのみならず、ワード・大
部等の高解像度オフセット印刷に達さな
いWindowsデータの出力ノウハウも
ありますのでご相談ください。

製本

自分史・体験記・詩歌・俳句・小説・エッセイ・
童話・絵本等、自分の本を作りた
いとお考えの方。
各種マニュアル・伝報・配布文書・名簿・
クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本で
お困りの学生・法人の方、少ロットよ
りお手伝いします。

総合印刷の
栄光社
有限会社

〒466-0035 名古屋市中区松風町三丁目4番地 2F
TEL. (052)848-6148
FAX. (052)848-6518
URL <http://www2.ocn.ne.jp/eik/>
E-mail eikou@theia.ocn.ne.jp



広報委員会

委員長 大鑄 史男 (F49)

学内

吉田奈央子
濱田 晋一 (SC22)
牧野 武彦
後藤 富朗 (EJ9)
杉本 英樹 (ZW6)
安井 孝志 (D62)
本多 沢雄 (ZY6)
小坂井孝生 (K49)
米谷 昭彦 (F60)
横山 淳一 (FB6)
菅田 愛美 (名古屋工業大学 企画広報課)

学外

祖父江貴宏 (SC4)
松本 浩明 (SC19)
浅井 一仁 (IIM21)
廣瀬 光利 (E50)
吉木 満 (W56)
森 真由美 (IID5)
野々山尚志 (Y63)
大矢 泰正 (K52)
寺倉 修 (F50)
入倉 則夫 (B47)

一般社団法人名古屋工業会会誌 「ごきそ」に広告を掲載しませんか

「ごきそ」は隔月発行し、会員・広告
主・関係官庁・各学会・大学・図書館等
に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

でご確認ください。

*広告を募集中です。お問い合わせは名古屋工業会 E-mail : gokiso@lime.ocn.ne.jp までお願いします。